

# **第 2 次出雲市地球温暖化対策実行計画**

## **【区域施策編】**

**平成 30 年(2018)2 月**



## ごあいさつ



地球温暖化問題は、電気や熱などのエネルギーを得るために、石油や石炭などの化石燃料を燃焼することで発生する二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）に代表される温室効果ガスに起因するとされています。

近年、地球上では、温暖化の進行の影響と思われる異常気象の増加や、生態系の異変などが起こりつつあります。また、更に温暖化が進むと、私たちの日常生活のみならず、生命・身体に影響が及ぶ可能性があることから、地球温暖化問題は、国内外で最も重要な環境問題の一つに数えられています。

国際社会においては、平成28年（2016）11月に発効した地球温暖化対策の新たな国際的な枠組みである「パリ協定」のもとで、国連に加盟する多くの国々が、温室効果ガスの長期的な排出削減に乗り出しています。

また、我が国でも国連に提出した「日本の約束草案」において、温室効果ガス排出量を2030年度に平成25年度（2013）比26.0%削減するという目標を掲げています。

本市では、平成20年（2008）2月に「出雲市地域省エネルギービジョン」を地域における地球温暖化対策の具体的な行動指針として定めました。このビジョンに基づき、地域全体での地球温暖化防止や省エネルギー対策などに取り組んでまいりましたが、計画期間が平成28年度末に満了を迎えたため、このたび「第2次出雲市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に改定することといたしました。

本計画は、これまでの計画で実施してきた施策や、省エネルギーの取組を見直すとともに、国内外の状況を踏まえ、「再生可能エネルギー導入」、「循環型社会の推進」、あるいは、今後予想される地球の気温上昇がもたらす影響に備える「適応」といった新たな知見を加えたものとしています。

現代社会における日常生活や経済活動は、温室効果ガスの排出と密接な関係にあります。市の取組だけでは、市内から排出される温室効果ガスを十分に削減することはできません。市民、事業者の皆さまと協働し、地球温暖化対策をより一層推進することによって、課題の解決を図ってまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり様々なご意見、ご提言をいただきました策定委員会の委員の皆さまをはじめ、多くの貴重な意見、ご提言をいただきました市民、事業者の皆さまに心からのお礼を申し上げます。

平成30年（2018）2月

出雲市長 長岡 秀人



# 目 次

## 本編

第 1 章 計画策定の背景と意義	1
1-1 計画策定の背景	1
1-2 計画策定の目的	5
第 2 章 出雲市の姿	8
2-1 位置	8
2-2 自然条件	8
2-3 社会条件	10
2-4 これまでの取組	14
第 3 章 市民・事業者への意識調査の結果	18
3-1 意識調査の目的	18
3-2 意識調査の概要	18
3-3 調査結果の分析	19
第 4 章 CO <sub>2</sub> 排出量の現状	24
4-1 CO <sub>2</sub> 排出量の算定方法	24
4-2 CO <sub>2</sub> 排出量の推移	24
第 5 章 CO <sub>2</sub> 排出量の将来推計と削減目標	27
5-1 現状趨勢ケース	27
5-2 対策実施ケース	29
5-3 削減目標	31
第 6 章 地球温暖化防止のための取組	32
6-1 施策体系	32
6-2 具体的な施策	35
6-3 地球温暖化への適応策	43
第 7 章 計画の推進	46
7-1 計画の推進に向けて	46
7-2 進行管理	47

## 資料編

資-1. 調査結果（選択回答）	資料 1
資-2. 調査結果（自由記述）	資料 15
資-3. 部門別 CO <sub>2</sub> 排出量の算定方法	資料 23
資-4. 対策実施ケースの算出方法	資料 25
資-5. 計画策定の経過	資料 37
資-6. 出雲市地球温暖化対策実行計画策定委員会名簿	資料 37
資-7. 用語解説	資料 38